# 増補東海道膝栗毛 七編

へ13
3694
7

門 へ13
號 3694
巻 7



[illegible]

[illegible]

[illegible]

一の丸
北八
弥治郎
天保山
高燈籠
松人の
摂津千船
渡の花
さくや難波の
蒲の穂
千歌
紀のくに
左平治
河内郎
のべちま
魚屋の太中
日重年次

道中滑稽譚七編上

かくて絲次郎北八夫婦宮の社に詣ずいるる不巍くだる神徳八条清の
人のとゝろとゝ不ゆ〳〵ゝ也料理茶やの赤前垂門ゝ不るゆゆ見ゆたち
魚楊ち場の田でゝ声往来の石を動ゝ〳〵嶽茶屋繁盛せ物のまゝ
ゝゝゝゝの觀せ物繁盛曲馬の類淫肉不手淫ゝ神前よ拝ゝ
ゆゆゝゝゝの西ゝ出樂呂

やゝゝゝ自由自在天神

ゝゝ宮ゐを出天神橋どゝゝゝゝるゝゝ不ゝ前の雪ゝゝゝゝ横巣緒
ゆけゝゝけゝゝ「ゝまゝゝゝゝゝ後ゝ絲次郎の黄八落情だ空ゝ後合て
ゝゝゝゝゝ

ヤ
とまえん
ヨキまえりん
ありちやと
あのかく
ういる
コレ紙屑買ハ濕
ゑろら山やえん

でんあさけちやいるロろちやい　ハイヤとのようにおもをーゆりかはをえん
あ〜〜デイ〜〜〜といつてあるくのをトきまちあるをハくきまえるコリヤ
おまへさんが髪をちやローやうるきまよりから異くくるちやとあり
ておくづァ　あれをちやときりん赤ーグデイ〜〜とのようにあるえをと
いへころちやがあ地でいくづやどのグまえるデイ〜〜〜とのくくと
出ま　ゑへさうひ出ぐ考遠ひちやコレくづやさんこちらグロるのゆし
あるまえ　くづひ　ちやくくあまくまるロるちやとちをまきりん　ゑまー
ちやとひくまうて北八テるまえひちやえのせくくを逃ーよ〜〜えるる
ろうひ　ちやちやいのあちやつんホ和聞グロるいついのト　ちちうるを北八
ことろりのいてせくくをとくくーそれちうホ和ちくくいるちくくうまをのくあてまえをえくくいる
ちうホをくくくをえホ和ちくくいるちくくうまをのくあてまえをえくくいる
くくくひくくく

## 四 八拾八番

かくのごとくかんこうそくさいあるべしらまことの中ろくに富士のあしたづがつるらいうつくしきものとうつくしきものとうつくしきものと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

神社の利生かくあらたなりしかば

・霊あらたなるぐわんをかけ

かくあらたなりしかば北八「のう婦人ども

おのれもかくのごとくなるべし

札を受たる奴ども食傷死のきづいせまんろ 老婆「そりゃ事出来

いかに信心とても札とり給わせおわや源さんさろもうるんぐ商人ども

無理強 樽だやわいろ 三奇婆「きてもとろ〳〵上とろもの減法

法よりおのれろくろくなるべし 北八「あるべき時八金百疋あッ

スーぶりでの對面 「ひさしぶりのもろ〳〵ふつひぐそこまとも

あるくてくくくトのさまいちにそのあるひまぐへまらられたち 雑波れ堂の

宮門よりの焼問をする悪

かふみさまときけば女の名のやうなれども



仁徳天皇の宮ふ系統さとこを世話博労の務筋と

いへいふ社の表ようい

博労のいろとろも道程や塗るうてくふ石もうあるきぐ

門前の田楽 「おとろうあ〜 田楽の中きたあぐらんろいあ 「系〜

表れるうもとらみぐんぐ〜のさあくこのつのけるのの 芸者の本名 「ろいのぐ

歴義紀亜間の強ちや浮新ぐ〜 北 「梅ぐ〜ぐ系統ぐ〜く

おろくるうぐ 汗へもけんの強ちのうもいくおくころもろ百表元

の所のかく稲ぐんだコウ北八ろんと呼ぶから新明、女師実と出ろけ

ちやアどこぐ北八「ろうろう〜 出ぐ〜ろうぐ 信平さん 信系ぐろや

あ出ろころくろうろ〜 愛嬢ぐら かまのさんがくこのものかあるりおやとッ

とのろくあんなやあるいろいろりや 屠女師ろあとお実ぐころや格別

江戸大傳馬町
大坂心齋橋通り

そのもとのるのるの五〜おとこ〜〜〜

いろいろのこまものをきるとまのやたがる老年の人々
コリヤ無駄ものらあまんごとをいふまんごとをして御めん
だやの酒一杯とだやのとりてだやさうひとさうのおだやか
コリヤ飲酒ものらおだやいろいろきたこまつらの泳ぎ池く
さうんどて料理の和泉屋おめよかけたる泳ぎイヤさやたる
あきさんとそれとうかアたゆく新町へきてのものごとあるその
晩までいろうも泊どやみたる年波さうあらかうらそうらなな
ものんもと撰料の着物情てあげるさうひそれ君さん今宵
新町におのでるそれお金いあとでもだん長日ゴ親方の
きつてだや揚屋へゆくさうひどてあまいあなおとうあさる
のだやのものんだやとさうきあさま北へとやおのしろく

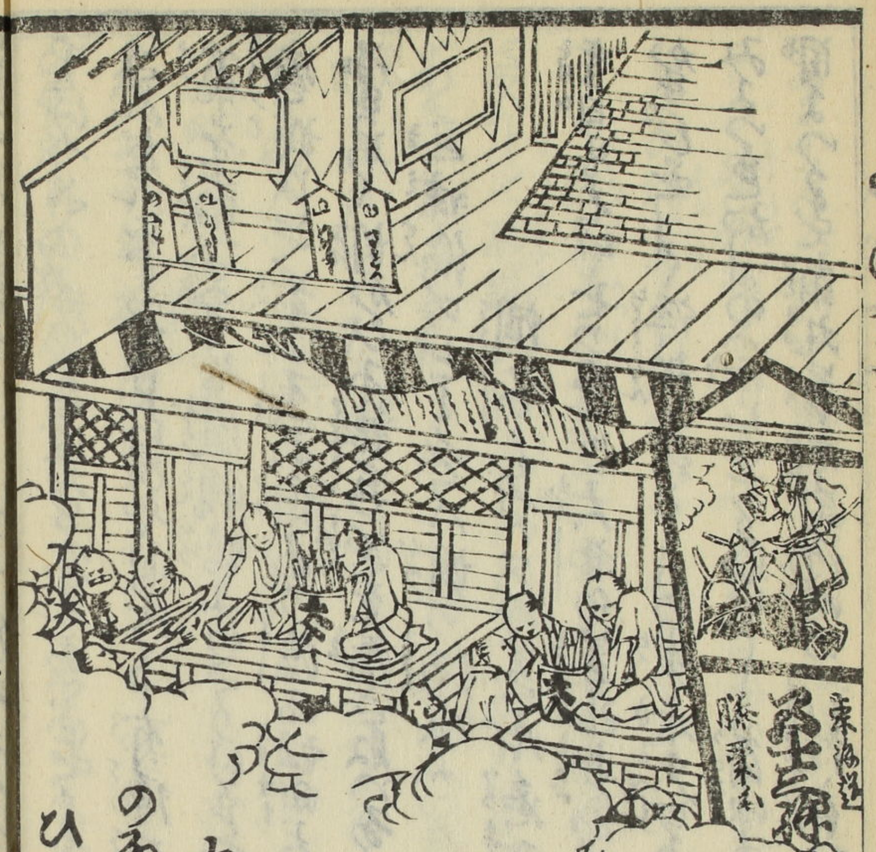


ひとけつぐ泳ぎいろうそんあらそんあらきくおあくよそのの
さんだんをきてらひやせうト有頂天ふあうん斎さん
第を南へゆくも道頓堀よりうけきとこと番傘一の
盛場にて若よ長の内あり泳ぎ堀町あり高麗橋けいあの
長橋あく切かひ小袖新延を浴さ取へる——

三味線のどうさん坂の娘ひの

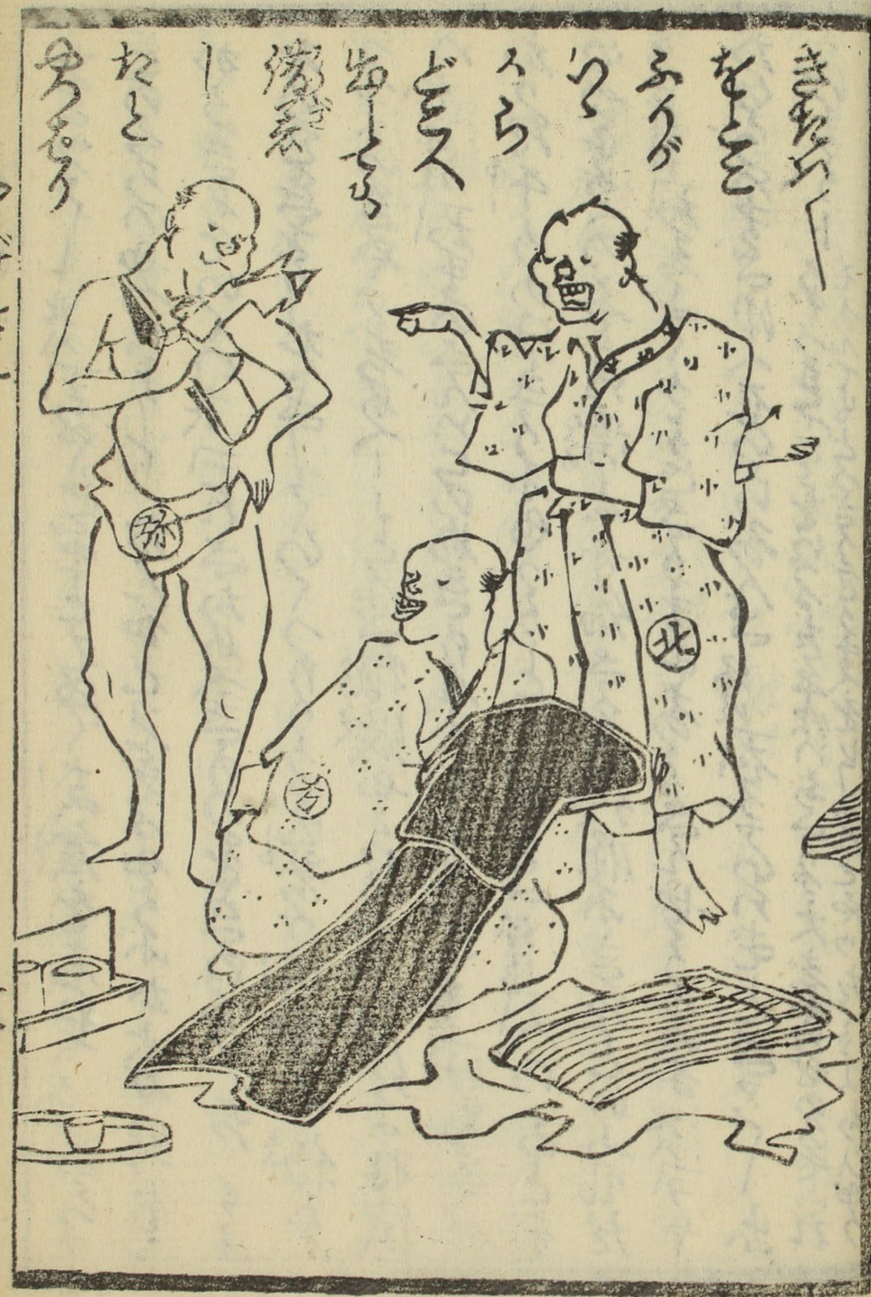
網ふたづさ取若長町

生日もそや七ツさぐう大西の芝居おしーて橋だらとのおと
かぶびとーく浮制だろくーの夢本ろ口ふ泳れて天満のどよ
みよつまおーもの浮をもろ面けくーー前中の大芝居の賓板も
目よつまで南九若左史行四の切狂言もろもおーーまえ



いろは茶屋の
神屋赤立の壁
と絵ふを繪を
張りまぜてあれ
島の間の遠ちかど
ハイく馬ちろく
のまれもくやどに
とのあまちのひと
たくさん茶屋おんいりある
のあら茶屋おんいりある
ひい大きのかぞあきよ

たまらつらつとあどるもあり日が中だ一迎てあつて表だらい
ゆきつるまだこうけまどやぐんオ
長所のゆどるどきたるひる
あたようどぎるやもた
ときふのもの損ぎ一のまろ
ア一く杉不せらく七さんせう
トうるかくへ
あひりる出階ふのて十さるよ
とろくぬるんぐるをくして
ぎるろ北八あたくるだらう湯
だうあらくくる北八あさゆ








きのうのだろうだよ　左子次「だゝや
てくるまでがいつちらえいのぢやつい　北八「ふらきるかまいまえ
北八「ゐんどころだそしてまえがてんつるてん
也御ぜいくさうにおりきるこをを着たらを指の奴風と
いふ者どいうてうちらの場ゐんぐ　左子次「ふとりだやしてう
ゐ　北八「イヤもうこの小級がよろうらうト　川たろうまさい　左子次「
女おれるあり
ヨリやおとこのきりりんうとおりのつくとしきたいの　北「ゐ
ヨリ　から考ろうひとろ小袖いまとどこまるからこの女小袖を
考こ不着てうゐ者滅場ときあやせろ　ちろうをてきろえ
ところくはゆくゆゆろう　注二「ヨヤ佐五本さんたやいのるろぎだ八めが
あがりくきろう

つとえるゝ〜北八「あるをもとめて支度を吉兵衛「ふ二「あらつ
このころのゆうべよりと〜だんなとそうるゆうふか大方いろ〳〵ん
かうきあてらくハ北八「これさあめくきつめをきるくうちおゝ〜ふ
そのうちきぐりをさうてくらくつりりう医者りゝ形者の極を
うゝハきるア考めく〜〜とんぐ徳敗やうだ弘次「とたよ根岸
ハ弘次平次「ちまいさんいとのめきりんふきるゝ北八「けちるゝ
ありだ平ゝうの仕きりふゆうとりふるゝ弘次「人のあとを
ゆくをめくのうゝハ帯本すゆさるの代豚ふきあとりゝ風だ
た平次「ちまくてゝがとどぎうまとあくゝさん七ぢうのゝる北八「ヤ
あのうゝのまぐさゆ〜〜ちらゝあんゝ弘次「ぞうゝアらのゝぎとさゝアく〜出
ふみとうゝトうゝつまてをらぐるた平次ハうゝうが大ぎゆゝせのゝぞされ
たるんてもどうゝうまゝをせゝめんとやゝたうゝすあひゆり

ちらゝ〜だんとうゝふゝとゝあくまちのゝあゆけやゝのかゝて三人ハ豆もたらゝよ米所を
ふゝうゝとゝをゝゆうゝちゝれゝうゝるゝあんゝあゝいもゝ
きゝて根ゝあと虫ゝゆけゝゝわゝどゝあゝ噴茶所ゝあゝ屋ゝふゝゆゝこゝの所ハ
衆ゝゝせちんゝあゆうゝのゝゝあゝゝゝ側ゝ肉ゝゝせ出見世寺ゝゝの空ちを
あゝく矛横白豆のでとゝ長屋道具屋ゝうゝのゝ家ゝゝのゝうゝ
ふゝうゝ〜ゝかゝうゝびたゝいまのゝさんゝどゝゆゝうゝるゝこゝゝゝりゝたゝうゝゝ極大行
でゝと神棚ゝのゝとゝゝあゝて来ゝゝうゝゝ沢ゝのゝかゝうゝふゝいゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝあゝまゝゝゝ観音の
厨ゝゝ実ゝ風ゝゝうゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ちゃうく盛勢よく「ヤア大きなるあたひだなやアく」
とうるやく」とのきろやアたろのきのきうろやアく　さろまらもろあうとと
「ろうとろうく」ぬくらのあぐらんうのるヤヤアわうとうだやアく　上えん「
ぬくらいく」鄰のたくこの雑物よう「ヤアまけるうく」ふまのらうり
かうらおろやアく」中　うう　此仲剣のちくらぎ」さえろうく」名のはやア
とうぐひやア　北八「あれ詠はうんアるせくアの新八弟ぐらうくこの
とんだとうろうこひとろやらうさうア飯もこの処でたうらぐろうる」
かんふさうさのうれいいうらぐれ中　ハイそうちやぐ此文こうちぐ
六文おやいのる　詠は「ツトとうく」コウきたハそんるアいちやみと
とうてうろるやうこやうべ苦めるをうろうるとうろうるめイあまううぜり
ちけ三十二文おうぐ也んでうんるト　ぜるをうろうぐまや　こけのうふ
つみううまを詠はうく」とうくう



ちうく」北八「ことあのらるるもうこ」ぬくうう　詠三「あとも　たけの波を　ふうう
北一「ろむ」のいうろちくト　とうかうる詠はうト　やうるうとうとうと

つぐ　ひるろん

つまるところ人のあらそ
ひはこれ都合の
悪きをのがれんがゆえ
濃のうを善悪の奇妙

笑りのハでん世ぞあづくり易へくまうらぶ法人ハ本るうまま
うの二ツとのくうるハ卦あくらあるハ卦とくもやでるけんまくうハ
十六組づくりハ一ちけこ見だくうハ遠いのうさ私さくくあくうら
あひこまくく 仮名「あんときたハあいらがあた百姓とる
あくまくうろ者れへうるわもあぐさこうたらくうろ北八
コリヤあり一ろく 仮名「りーるうもちぐ運をうたハんをせハト 十六変
うらるのーや仮名神のあるまくうこあるふうこあるぐ「ハ丁ア吉ハ本名
やくまくまくうくさんぎまるくべーだらくうん仮名
とひやうるるハえくハ者やるもるみ
さ大きふくうあくうぐあくやくうるハ「ま
地の卦とんるこんくるハ俗ふやけくるもまくうち瓶猫とりハーく
ま者とふるくうとうるるあうるあ者ぐまくるとうとえまま「つあヤ



奇妙くーくうあくうやーた 「ま者ーー変卦ハ乾の卦乾をけん
けれくのかくでくう本卦の地と変爻の乾と合ーくまを表くとハハ
易ふ曰乾地くうくうのあひぐをぬけくうの卦にあくうくてるくうきれ
くうさくくハるるき宝殿地とやるおぐれべかんをつけらるぐよど
ぎくうまも 仮名「ヒくうハまくくんくーさくうのうけだやうねハくうう
ちくうちの三ハ掘くくうも同ドころくあを縁表のるくうらるひ「イヤ
をくくあくるもハ卦あくらあるもハ卦 北八「くうくうーあせハ十六のん
くでくまくくト くくくく

花をかざり鄙の志ごころ雅くひろげて座一ぱいまの長人を一杯くゝめどそれもうの波紋載後所をけんぶつ

遊女部の袖ひくをからくひ遣しく九軒の町ふいくるとこかそ

所ろの人うの色ろ中をて去まあり〳〵さらつるふ抜てまりゝるふ妾政六年

二月まろよろ鄙中なてとと志ゆうるのるるりどんごぶろぐんふ屋のかきうのとらぞ門ふさらとうて

春色を志の千ろ花ゆうるのるりどんごぶろぐんふて

ろ志のくんじ〳〵ちゝくゝとくきあるくぶぎる繁昌ろり





ろ平二

屋敷長屋だ ろ平二 さア〳〵とてだろやおまいぐくふとふあのでるのさを

やゝふろうを寒正のげんこうんふまくふ屋もあきかてくちくふ

かとうのひいるまぐとうのゆきろそくさをろそるぬまをぬふ出る「コレハよろふ出

とされまりたとろ〳〵仲居どもどおんふいやさんくさアあとろり

ろまれまを ほれ ろ二 そんあゝゆるゝろ母くコウ北へ来ねくゝ門にふちそそ

かろて花やの抑だろをあるめくしは平二 コリヤだけやうたゝ〳〵さアおいろと

じんアイ ろうあぐくいろ ろ平二 まだぶたゆ

あくふいさろと ろ平二 ふるぎとふ

ろうぬどもちゝたまと ろ平二 ふ

おんをのちゝくくちち

有がろうどぎろ中ま ほれ ろ二 中ま

仕へのふをり四ったゞ中ふ抱ゆんでめてゞどぎろゆを遍ゆのろちゝ

新町
九軒
花盛の圖

[illegible]

[illegible]

[illegible]

「ぎゃあ
お乳女へ
おろやまの
山のお猫
乳女風ふ
をかん
なまくれ
ちゃちゃと
ちゃや
コリョゴリョ
コリく



りちこりこりヤ背ゑ
ゆらゆらゆら揺ゆ
ことあてのけ
だりげてい
あてや
あちやわらちゃんいい
お
こちゃうふとろろ
どちの
ばらんだい
いなつあまんさんたるつふるんでお

「ソコヨッチョシトヲテチン
「ヤンヤ〜〜ぢゃぢゃ
「アく
「ヨホ〜〜〜〜
「ヨまちんやのアノ
「ヤ
「イヤ
「アく

[illegible]ようのみぞうるあらかぶ[illegible]
ーもんできてこうひこれうらかろうこうこと類風呂くありとこのまいの
フカ〳〵フツカホカ〳〵けつかろう〳〵ぞくとぞおぞうまもそうる[illegible]「伊
だや類風呂ーこいつへからぶろのうるおやるこうろう我ごまもとのうまま
だやとこ[illegible]るかあどまホ向ひてあんごのあろうへこと過去[illegible]ゆうのうく
ようだいのうつばくあうどまあくまのこつあやいそまるぞ[illegible]
まもやうホあとうとうじこまゆ〳〵のとあうをつきのうー[illegible]
大のあうこいちうまひいうこのうまへひきうひかぶうをうまもこうホきううと[illegible]
く大まうるぞ来るまうくういるうまうこ「[illegible]右んどあまいこん[illegible]
今あうこうあまうもとこうろうか後こうこだやわいるうまこ「あまいんこん[illegible]
マアまちや潮涙のうちうくうホ出そだやうちやうひちうとのうまうこあうれ
なるまもこうこうこだやあうんるもまホうまあのうるうまもこ



とこのうるまちやいるをれうどとあちゆがあのうさアあるうるまもく
うイドあどうるれで出るとこうこ[illegible]るうゆがいうんごは[illegible]御あうホもこ
らんだいとこいもうくうごやうろうだいく〳〵[illegible]ようせもまうーこだやさア
あうちくあ出るまもト「大[illegible]ひうくこそ[illegible]ごのざうあくさこと[illegible]くこ[illegible]十人だうう[illegible]のる
ホうあうけひくこてあると「[illegible]を別すのもち正体[illegible]張面視[illegible]れ
伊兵「あうきやの掛[illegible]さんこまこあうーー「さうぶきをとうの[illegible]
あうあのうるをみて　伊兵「法ちやの雑松さんこあくあのーー「[illegible]ごんくと大まこ
あうこうこ[illegible]ぶきをとうのもまうーこ[illegible]ひうくーホうく
だめのこくこうこうーさうぶきをとうのむまもーこ[illegible]
うううーこうここホあうくこうもこうもさるでーのむこ[illegible]
あまホこのあるあ〳〵こうこあ北「イヤのうう[illegible]
ホ出くこ[illegible]こうこ女郎ごうけのあるお[illegible]
ちやうこうあ[illegible]「ハー西の[illegible]の[illegible]さん
[illegible]「[illegible]今[illegible]のこのとうあさうこうまもの[illegible]

[illegible]

「あんのまつりはあるひとろ
あるあるのうあるもとこ三
ちんそろうあとろあるト 仲右ど四三三人ばかり
かくり泳れ弁 北八ホ
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

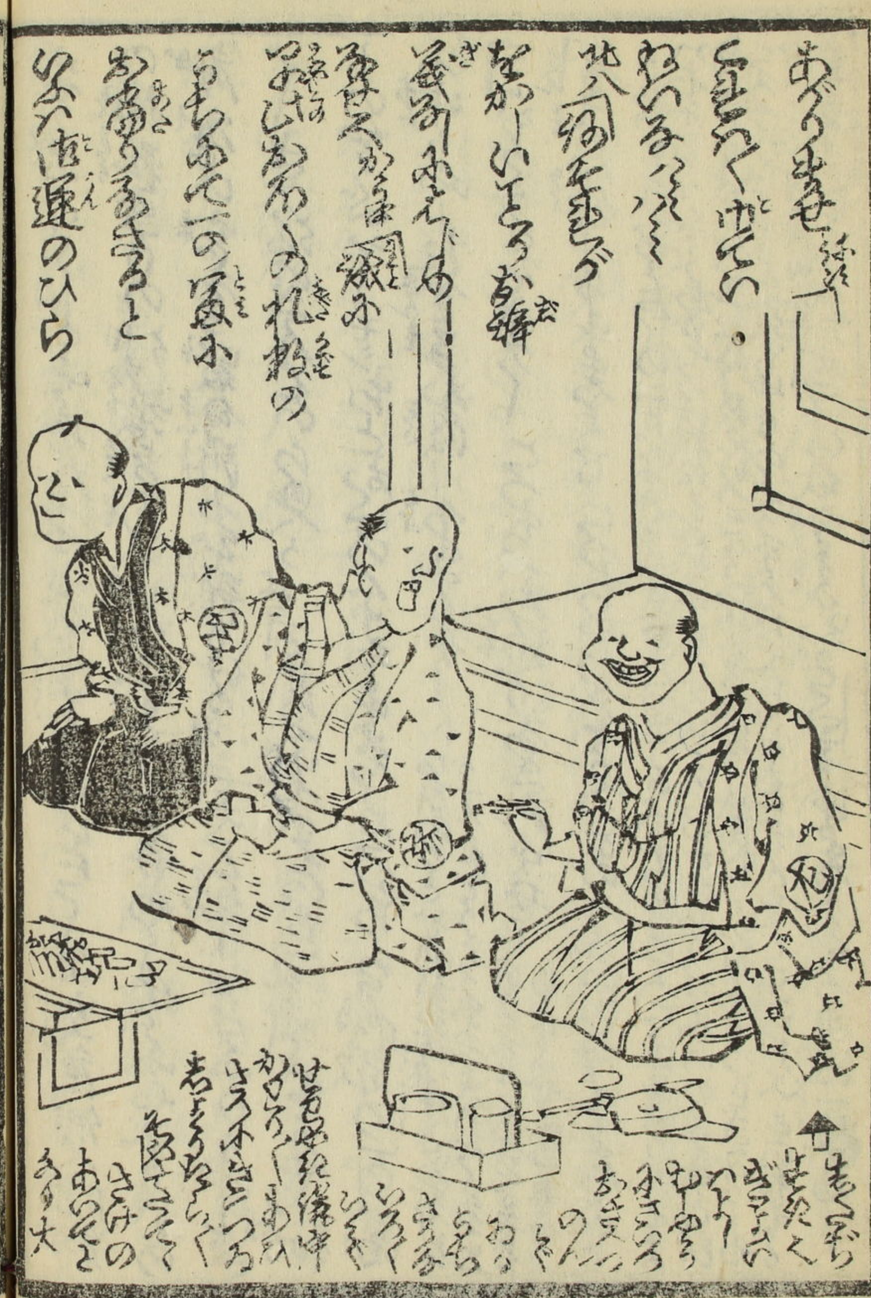
[illegible]

[illegible]

十の字のあり[illegible]

[illegible]

[illegible]

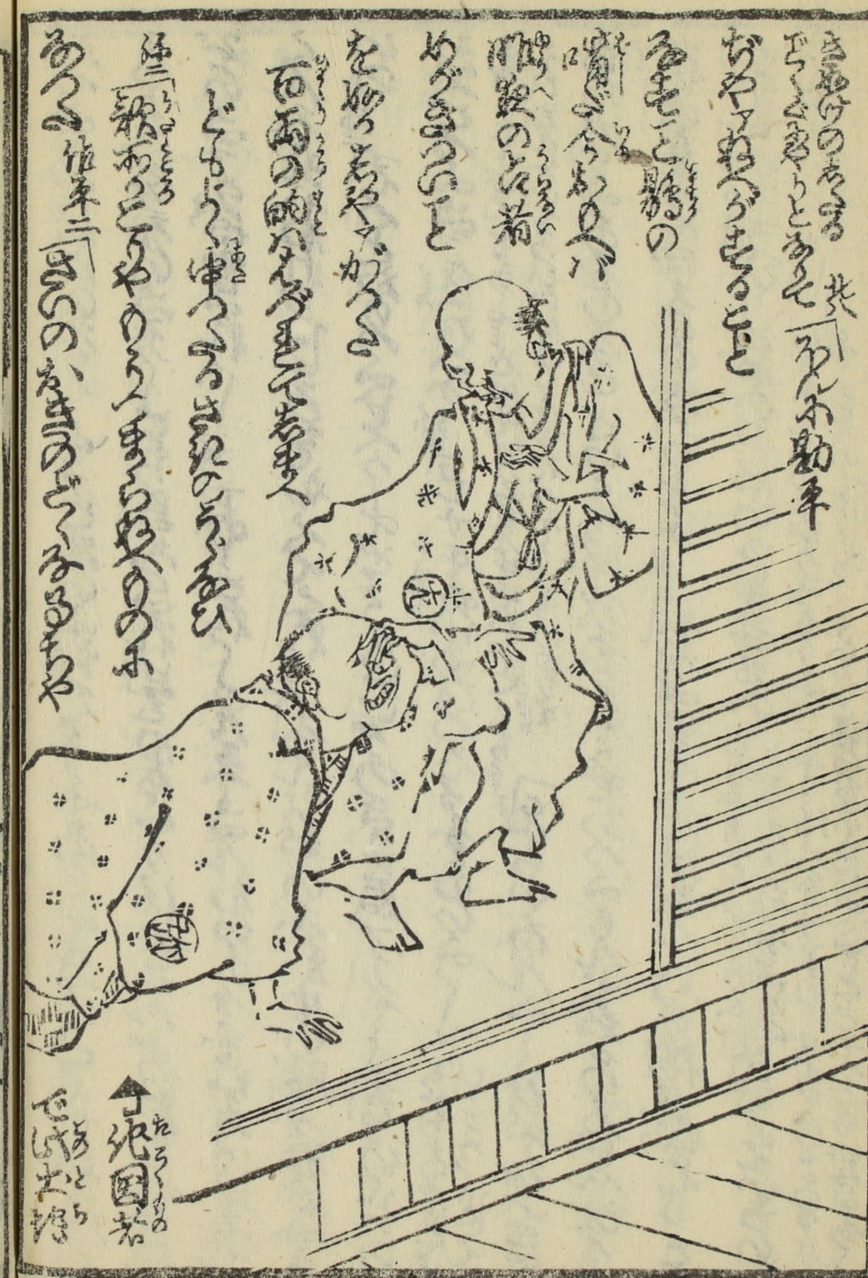


[illegible]

[illegible]

[illegible]

いい分とこの和のどこの[illegible]十二[illegible]から[illegible]
[illegible]
[illegible]


北国者
でしたとは

道中滑稽譚七編中ろ



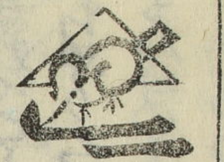
道中滑稽譚七編下

[illegible]の大社[illegible]の[illegible]の[illegible]の

かくて激肉をそなえたる場こそ迷ふ事ならんまこと一の迷面
ありそあらばいこのもれちづひ[illegible]
ちゝとゝろくろまそーろくろ[illegible]
ゝのゝとゝくゝ[illegible]
場まるこのお話者の娘でかつくろ
ぐつぐゝと煮てゆう番のごうとゝ中年娘あねまのところへ
お用ありこれてごらんじませ天ま[illegible]
出ありつちやうくろうちやう娘山ふ[illegible]
ゝづまこもあくこのこゝやまゝもセト[illegible]
おりこ[illegible]
おかゝのゝ[illegible]
のちやうゝいふ[illegible]

男「イヤア新吉[illegible]
[illegible]

孫次「コリヤめづらしいくゝ



## 三 流常

小石

せきぞうの下人 ながさうの下人 ながれ出て丁人 ながれ出て丁人 流の下人

## 九

太文

イ 小り

あかや

ゆきさと

イとあるへあやまりなるべし 四とあるも仝あやまりなれども二十文三十文へうまとも不

きのくとてあのあのろるのの〻氣のきろねへトいかつ、あやよわどへころ〻
いまのことをとりの名ぢ北へ「あくあさけのねへあをとかまこまつてあやアかる
とえとり「コラアくまんせくあまのぐくまこてで遊ぐあれ野ろろこアく
どんせくいまつまこびあまのぐくあこであとんべあてだやあつくろかい
ひをだやあるのかいきこんをあ「みてだやきこるのつくらいあいるい
のまアあまのぐくこん「目ふらくたびわどあらんべしてだやどんの「ろやや
三ろまとる目もありぬくこんいあこてる時もあり寝まつくこさアあやや
せんとえとり「ふとろうあろうあるあるあらの「あくあもいろくあ
ととをきくのんだあちあんぞそんそんあでもあいくこのあとこのあ
あんのるいねへシヤアくと濱の「濱るゆうかあやまとえとり「あそやや
よろうきくぞやあろかい惜いとことだやあ「ちとあていろうだやや



ねへくろ北ハヨトこあくあのあをまきるトとあらもそ「ろのの北へアレろあく
黄揚のうちかいあのかんぞこの「ぶつまろるト「ろにかのあちとあく
北へかあくうかあるかあふ井ぎれまをあろいたとくるとんとことりのあるぶ
ぎこことらんとしてくるとんとことりのあるぶ「あるこそこ
北へののちくるれーまをとをきれしそとら「あくこ「ろのあくこあそ
あくろりあをーりかくこびふくかあのあ北へも「あくこ「ろのあくこあそ
ふくとのくちあるちかあちあのくちろかあり「コリやさあんぞかいあト
たるこのくちあるちかあんぞこのあまをろかあり「コリやさあんぞかいあト
あのこのまこびろあど目とえとり「コリやさあんぞかいあト
くこのくあるかんぞこあれば
あくこのおやあろぞい孫むまあかあ
いかあくこのとかくどんせくとえ
をくさ「ぞあくろくあとえとり「ろ
あくぞりのまの親ぞあとうまでくろ
西へいれくこのあるふとくあそ「あまこ
ちあまあかあとろきくろ「あんどやのゆくくのるぞあくこ

コレヲ見ルトアタマ上ヲ見ルトアタマの頭ハ小粒の近眼のうらこのぢやとしるる
「ヲヤ」「ヲヤ」ヲヤ「ヲヤ」ヲヤ「ヲヤ」ヲヤ

とも食たる絵二「きたれわれ」北八「もんぜんをうつもものきまるとゞ吸つける
のゞのをドレ〜おりらぶかりそやらう〜ぎく〜とまをを一つかうろ
三十三才の「ハイ」りんまつひけ〜もれそうひちうとうくあびせまもう
女のとき「ハイ」北八「イヤうくうらるまらうとうもあるとゞき「そ〜ぐらかまん
うらる北八「イヤうくうらるまらうとうもあるとゞき「そ〜ぐらかまん
さんひとうくそおかあるれ北八「いくとをらくまちく〜きゝ夜のとうく
のゝをうくかしとやらうう〜ウ絵ぬさんくまのせくちゝ食ゆくまうく
なの義兵だ絵「ちんゆ紀きろうのゞコレくひぬ男があるう「ハイ
春ゞまらきちくひまれやう〜ゝういる絵三「そんあらまるあゞしくある
づゆゞらくゝとゞき「ゆうぶやういるこのあひるせいやのとゞやあくゞぶ
あうくるゞ言のをとゞまるとの男ぢやゆ神ゞどそを居をてんく
てんゆうのおとゞゆうらそらいよゞまうくくらせかん



をとこちやうひあとくいてんうくそゞあうゞかんゆうくの内
ゞあうくゞくようゞくんゞませくういる絵二「あれゞのくところくせをを
きくそやらううこのをとこゞとゞうゞたうゞき「ヨせ〜〜あのゆ分のくところく
あ〜〜ゆやゞうゞいきくらいいる北八「あれも内ゞ後くゞいくまちしいる
善信善中だ出ゆおゞくゞあうゞいき「いりやゞとゞゆ善信
あくゞちゆ北八「イヤゆゆ何といくくところくまちぬくゞうるくくるこちふ
楊善信しとあくゞあくゞあれゞ出ゆくゞくゞの楊のあくゞゞ
後三あうくゞとゞき「そくゞらゞとゞあるあくらいゞ遠くとのうくゞ
きくゞあのくゞくゞせくゞいるゆ北八下と猪飼ゆ一女やらくゞくゞあまゞゞ
ゞ食ゞくゞとゞあくを女房ゆきくるゆの主殺念ゞ〜とゞき「ハアゆ前さん
ハアノゆゞとゞうゞるくくゆの花ゞやくゞあのくゞ北「きまくゞとゞよあのくゞア

[illegible]

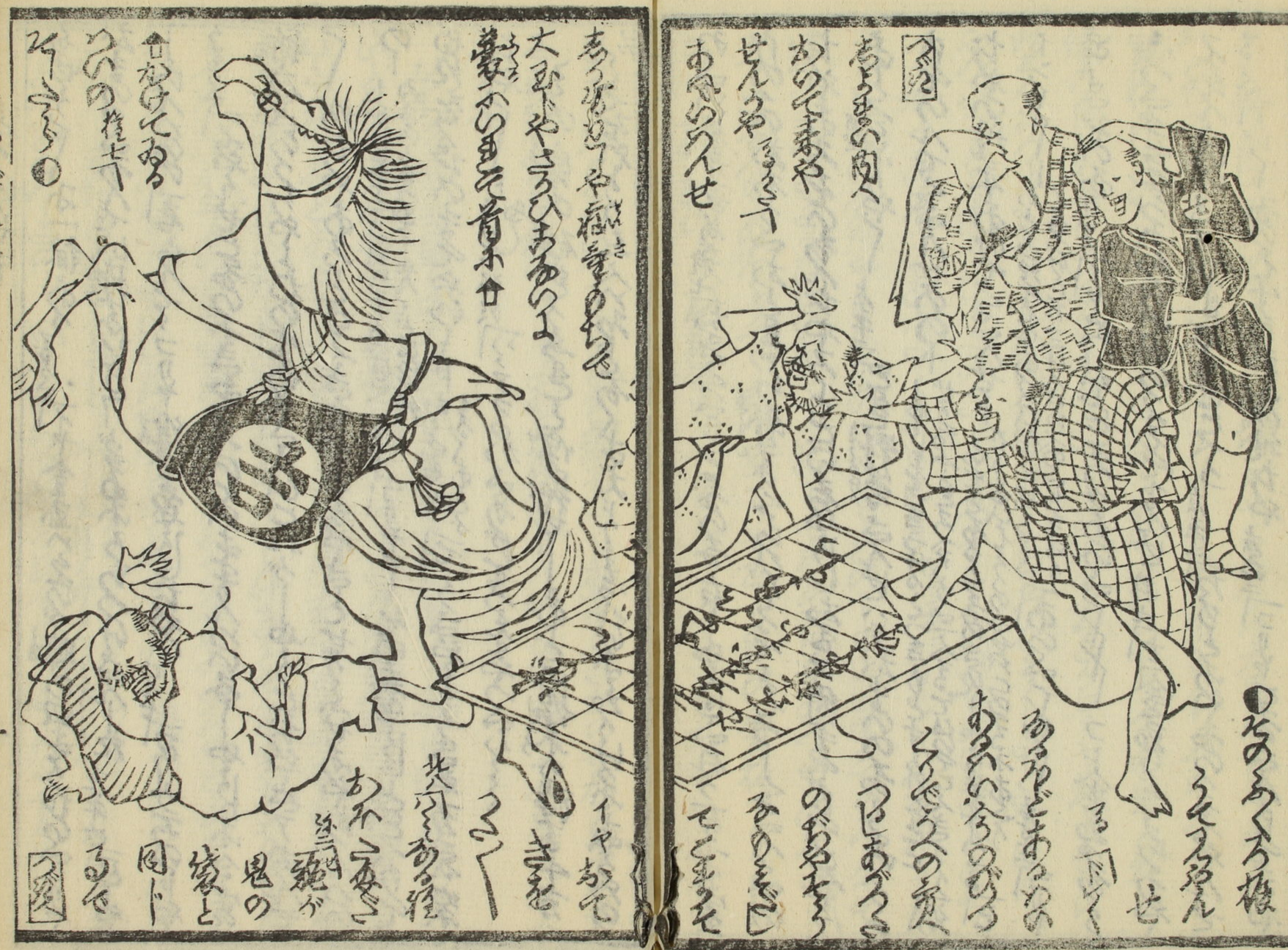
[illegible]

[illegible]

十二あのまつぶとろのめんろ 格七 イヤこれの不大きふ書てあるのゲ
かどれの眼ろやとらんろのコレこれ世んぎのもり三文書ま今
宮新けさいろちやとーつふ臣ぶかい〳〵のだやろ文ろ流と格者
係の月まふりこいるるにだぶひとろあのて出ぐゲコリヤあどまら
ぶところくくりんろせこのだりや 北八 十二どろつぶろーーーとろいるあく
ゆろぐコリヤ逆で格ろこのぐ 格七 高ろまことあくせやい降ろまて
い者ろあろいあんぶろこしをまと 左平二 コレくく 伯父コリヤ
うろドやいろ格やらあまあのあぶこのーゆらど寝てのくまて
逆くまてこさろひこのあくぶ拾ろくまだりやあろくいる 格 八
ろくこあんもあろうくさんせコリヤロトとこの身板でろうめ
だいろあいいの北八 ニまでもまこ出ーて寝くこをあのらアこて



あくぶ義ふ格七 あこくこまとこのるあーゆらどこれゲあまの実
りのこいあろくあどまこらあるこらひをるくくぶくころくこの
だやあろぶこのんだやろとこのあまりしあまぶ肉まぶりこれサア
あこくぶりやくくー 左平二 ニまま 利ろ ニんせ ハテかまこのあくらあくら
ろそりんぶこぶんせのト しゆろまを格七 ゆらどすこれをこと
だやの格ま本あのてこぶんせト しの ろこ人ろてひのて人きくくり 分
インくくートあどろひこもあのくるいゆらどまを人ろ 上
ぶやこぶひあろ上 イヤもりこどころあのくくくくーー 左平二 コリヤ
あくぶここらあらてあのくくくくーー コレ金ろのゲあろ
ここんこのろ 格七 十二金ろのゲここらあや
ろくこ同くくあのこまりどや 左平二 コリヤこるさんりくきや



[illegible]

[illegible]

[illegible]

めつりをせうと[illegible]三人うちうを抑代大神へ神代のむかし一日の日
[illegible]の[illegible]の社[illegible]すまうの社[illegible]
[illegible]の[illegible]の[illegible]神功皇后十一年卯月廿三日法[illegible]
[illegible]尼[illegible]筒男命中筒男命表筒男命の三座ありのち神功皇后
をもまつりたてまつりて此社の五柱と申也[illegible]末三十餘社[illegible]
神[illegible]に物[illegible]うけ行[illegible]
[illegible]
のうまてのうえの方の三文字やホりどる女どもなりくくとたちのぞ
[illegible]
えらいあまいろちのママひとろあげうあされと[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

たト[illegible]大坂者ホ[illegible]
[illegible]
らもあるとこうはとどどこいろいろもつまらわえ
りのさ[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

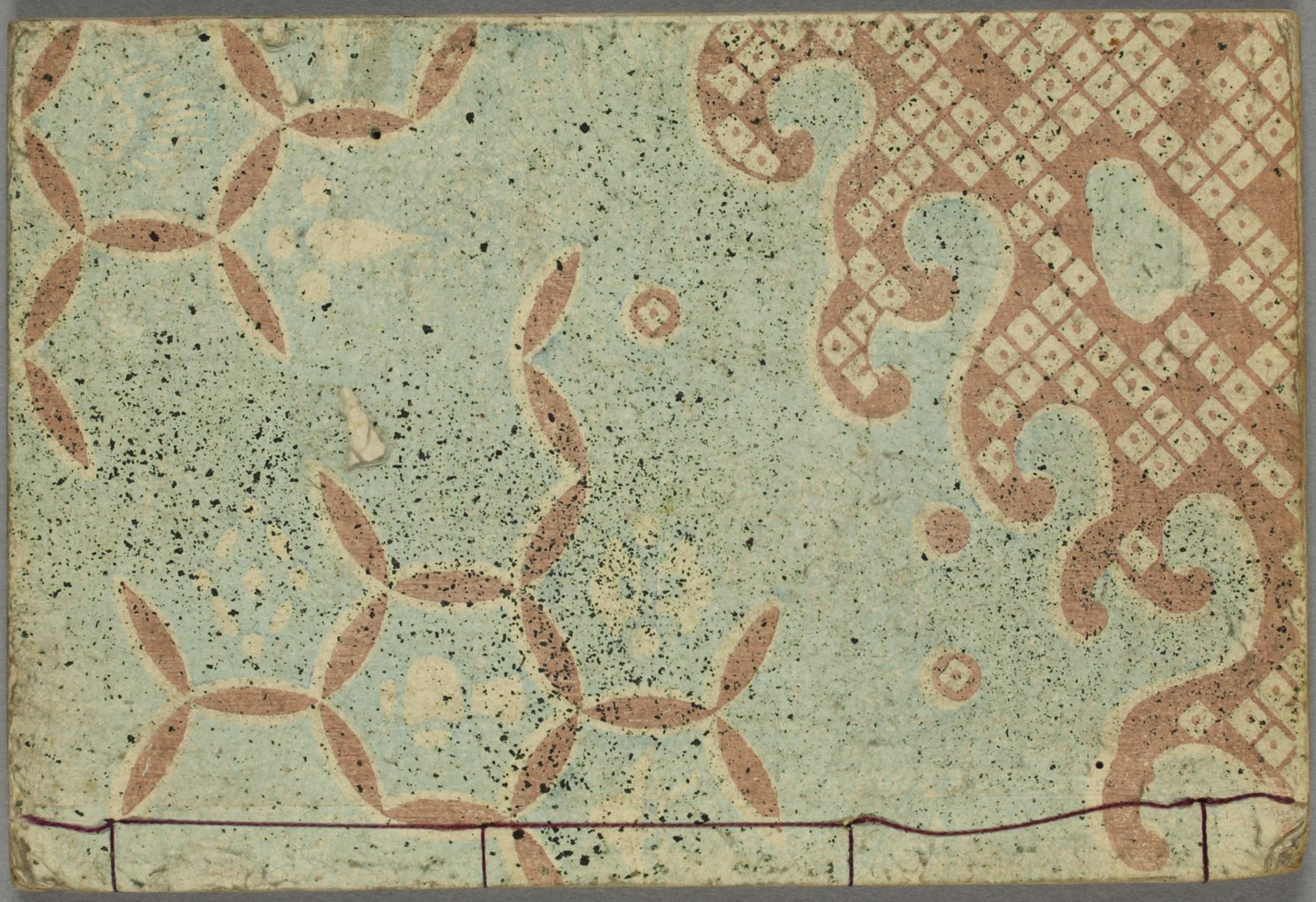
[illegible]

[illegible]

道中滑稽譚七編下 大尾


東海道膝栗毛 初編より十九編迄 十九人著 出板一 魁齋芳年画

豐臣雲昇録 初編より山と亭有人繼 出板 孟齋芳虎画

赤穂義士銘々傳 全三冊 招禄翁著 惠齋芳幾画

書物錦繪問屋 江戸通油問 藤岡屋慶治郎